

平成22年10月25日(月)
国土交通省関東地方整備局
企 画 部

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成22年度第4回）の開催結果について

関東地方整備局では、平成22年10月21日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

・道路事業 再評価 - - - - - 9件の継続を了承

なお、議事概要は、別紙1のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) → 募集・情報公開 → 公共事業の評価
URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、千葉県政記者会
東京都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、長野県庁会見場
長野市政記者クラブ、長野市政記者会、千葉市政記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151 (代表)
048-600-1329 (夜間直通)

地方事業評価管理官	たなか よしあき 田中 良彰 (内線2118)
企画部企画課課長補佐	いいじま まさのり 飯島 正典 (内線3153)

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成22年度第4回）

議事概要

1. 日 時 平成22年10月21日（木） 15:00～17:30

2. 場 所 フロラシオン青山 1階 「ふじ」

3. 出席者

[委員長]

家田 仁（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授）

[委員]

大野 栄治（名城大学都市情報学部教授）

清水 義彦（群馬大学大学院工学研究科社会環境デザイン工学専攻教授）

田中 里沙（株式会社宣伝会議取締役編集室長）

堤 マサエ（山梨県立大学国際政策学部総合政策学科教授）

山崎 朗（中央大学経済学部教授）

笠 京子（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局]

局長 菊川、副局長 荒川、総務部長 本東、企画部長 金尾、
建政部長 永森、道路部長 縄田、営繕部長 遠藤、用地部長 深澤 他

[東日本高速道路株式会社]

関東支社 建設事業部長 川添

4. 議 事

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ 関東地方整備局の道路事業9件の概要説明

2) 審議

- ・ 特に重点的な審議を要する案件として4件選定された。
- ・ 事務局より説明された下記の再評価対応方針（原案）は、了承する。

①再評価対象事業

(道路事業)

一般国道4号 西那須野道路	-----	継続
一般国道6号 千代田石岡バイパス	-----	継続
○一般国道16号 保土ヶ谷バイパス(Ⅱ期)	-----	継続
一般国道20号 坂室バイパス	-----	継続
一般国道20号 下諏訪岡谷バイパス	-----	継続
一般国道246号 厚木秦野道路	-----	継続
○一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(東金茂原道路)	-----	継続
○一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道(大栄～横芝)	-----	継続

- ・ 下記事業については、継続審議とする。

(道路事業)

- 一般国道357号 東京湾岸道路(千葉県区間)

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業

<委員からの主な意見等>

(道路事業)

- ・ 事業費が増減する要因については、その内容を分析するとともに内訳についても明らかにするよう説明資料を充実させること。
- ・ 事業の進捗状況については、当初計画と現時点での見直し計画についてその原因を分析し今後の事業について反映できるようにすること。
- ・ 一般国道357号東京湾岸道路（千葉県区間）については、慎重審議のため次回再度説明を行うこと。